

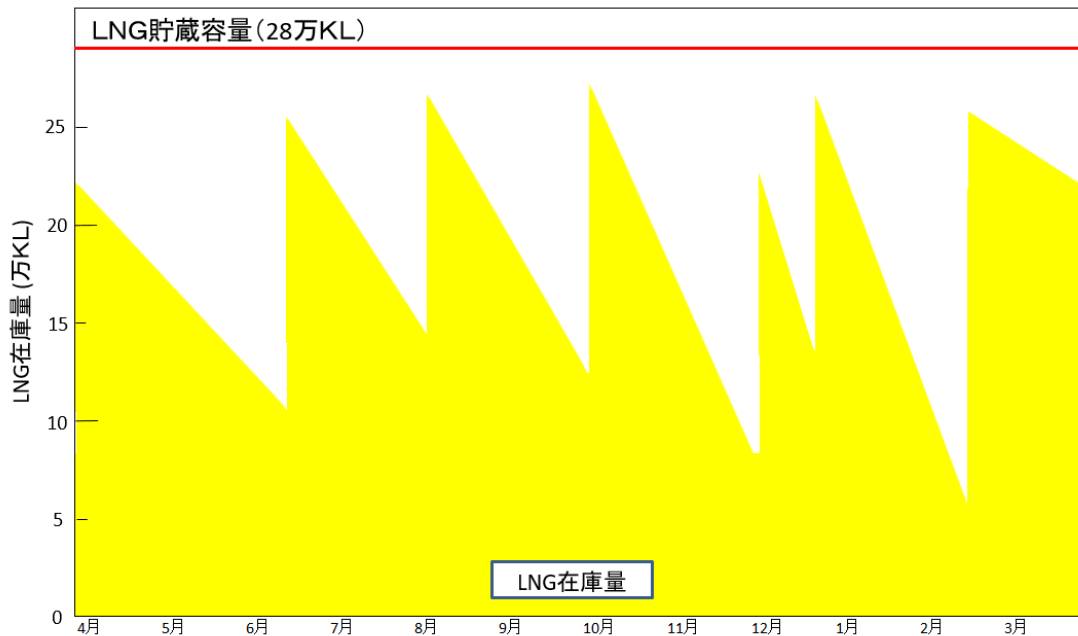
八戸LNGターミナルの情報公開

1. 設備概要

LNG受入バース	最大船型	メンブレン型：217,000KL モス型：177,000KL
LNG出荷バース	最大船型	3,500KL
LNG貯蔵能力		28万KL（14万KL×2基）
LNG気化器		高圧129t/h

2. 貯蔵余力の見通し

(1) LNG在庫量の見通し



(2) 受入余力

260千KL

なお、本数値は以下条件に基づくものであり、LNGの受入状況、ガス需要動向、予定外設備工事等により変動いたします。

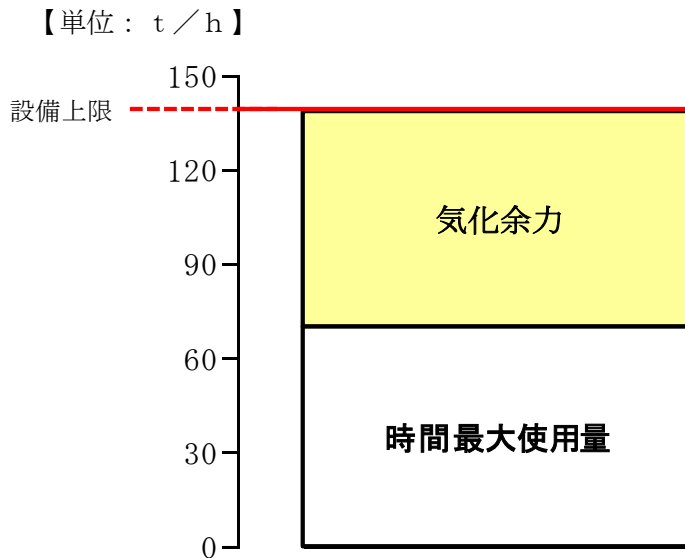
ア. ルームシェア方式

イ. 入船1回あたり（130千KL）を、八戸LNGターミナルで受入後、6ヶ月間で払い出すこと

ウ. ガス受託製造依頼者のLNG在庫が高在庫となり、当社等のLNG在庫が低くなる期間は、当社等がガス受託製造依頼者からLNGを一時的に借り受けし、当社等のLNG受入後に返却する

3. ガス発生設備におけるガスの製造の余力の見通し

LNG気化器：42.9 t/h × 3基（中間媒体式）



上図は、当社で予定しているピーク日における気化器の時間最大使用量のイメージを示したものです。気化余力は60 t/h（製造計画策定値を基に算出）となりますが、LNGの供給変動、ガスの需要動向、定期検査、予定外設備工事等により変動します。

4. 配船計画のおおよその策定スケジュール

当年度分の配船計画の策定スケジュールは概ね以下の通りです。

- ・前年度7月ころ・・・LNG売主との間で配船協議を開始
- ・前年度10月～12月頃・・・LNG売主との間で年間配船計画を策定

(注) 上記は、おおよそのスケジュールです。

以上